

さくら坂

No.12

輪島市立門前中学校

令和8年2月25日

「学ぶ理由」

いよいよ、3月を迎えます。3年生は公立高校の入試、卒業式を迎えます。奥能登の倍率を見る限り、入試は厳しい状況にあるとは言えませんが、合格することが目的ではなく、さらに3年後の将来に向けて学びを進めていかなければなりません。3年生には、気を抜かず最後まで勉強に励んでほしいと思います。

2月に福島県の義務教育学校「大熊町立 学び舎 ゆめの森」を視察して来ました。2011年の東日本大震災により、会津若松市に避難し12年間同市で廃校になった学校の校舎を間借りして教育活動を展開し続け、2023年ようやく大熊町に戻ったという背景を持った学校です。保育所・小学校・中学校の一貫校で、児童生徒数は門前中と門前東小・西小をあわせた児童生徒数とほぼ同じです。校舎の規模は少々違いますが、校舎中央にある図書スペースから広がる教室の空間は門前中の校舎によく似ていました。

ゆめの森では自由進度学習という手法を取り入れた授業を実践しており、児童生徒は单元ごとにそれぞれの目標を設定し、個々のペースで課題に取り組んでいます。ひっ算が苦手な子はかけ算の復習するなど、自分がつまずいている学習に戻って繰り返し勉強をする、または先にどんどん進んで難しい問題にも挑戦するという具合です。ワークで勉強するか、AIドリルで勉強するかも自分で計画を立てて決めています。先生方は一人一人の習熟度を見ながらサポートをするそうです。そこには安心して学べる環境があり、うらやましくもありました。

とはいえ、時間は有限ですから、卒業後の進路（高校入試）について尋ねてみたところ、校長先生の答えはこうでした。「先生方は勉強を教える、というより勉強の仕方を教えています。『なんでだろう?』という問いを大切に、失敗してもいいから自分たちで答えを導く力をつける手助けをしています。」

勉強が好きだと言う人はあまり多くはないと思いますが、できなかった計算ができた時や、新しい知識を得た時の嬉しさは格別だと思います。本校でも、生徒たちが夢を描き、志をもって学んでいける機会と環境を提供しようと試行錯誤しています。今回の視察を生かして、生徒自身が将来に向けて「学ぶ楽しさ」や「学ぶ理由」を見つけられるお手伝いをしていきたいと思ひます。



校長 小川由美子

全校道徳からの学び

2月4日(水)に西垣健人さんをゲストティーチャーにお迎えして全校道徳をしました。西垣さんは、NOTOTOという団体がボランティア活動をされています。自分が経験したことから「挑戦することが自分を知る一步になる、恐れずに色々なことに挑戦してほしい」とお話していただきました。

<生徒の感想>

- ・「働くこと」について、よく知ることができた。私は、今まで働くことにマイナスなイメージをもっていただけ、西垣さんのお話を聞いて、働くことに対してのイメージが変わったし、これからは失敗を恐れずに挑戦をしたいと思った。(1年女子)
- ・西垣さんのお話を聞いて、自分が思っていたよりも大変なことがあるとわかった。でも、いつも大変なことばかりじゃなくて、大変なことを前向きに考えることで、自分の気持ちのマインドも上がるし、自分のやりたいことが「もっとやりたい!」という考えになることがわかった。将来に生かしたい。(2年男子)
- ・西垣さんの話を聞いて、これから日常の小さなことからやっていき、いつか大きなことに挑戦したいと思った。そして、人との関わりが大事だと実感した。(3年男子)



働く人の話を聞きました

2月5日の午後から「職業人講話」が行われました。ゲストにはグランドスタッフ加波千晴さん、理学療法士の濱本武志さん、自衛隊の荒木洋貴さんをお迎えしてお話を伺いました。職業についての知識だけでなく、その職業に就くための手順や気持ちの持ち方を教えていただきました。ありがとうございました。



<生徒の感想>

- ・3人の話を聞いて共通することは「夢をあきらめずに努力することが大事だ」ということだった。それを聞いて自分は納得した。だから僕は、夢はまだないけれど、夢ができた時にあきらめずにいろんなことに挑戦したいと思った。(1年男子)
- ・私が「グランドスタッフ」「理学療法士」「自衛隊」の3人の話を聞いて、将来やりたいことは、最初からあきらめるのではなく、変なプライドは完全に捨てて、頑張ろうと思った。(1年女子)
- ・グランドスタッフという仕事は英語がペラペラの人が多いと思っていたけれど、そういうこともないことを知った。また、加波さんは、夢を見続けるために高校に行ったと言っていた。私もまだ、完璧に夢や将来が決まったわけではないから、将来の夢を見続けるために高校へ行こうと思った。加波さんは40歳で自分の夢を叶えていた。何歳からでも夢を叶えることができると思った。かっこいい(1年女子)

「ふるさと門前川柳」で入選！

冬休み前に取り組んだ「ふるさと門前川柳」で4名が入賞しました。入賞作品は、門前町のシンボルである「禅の里」、「あまめはぎ」という地元の伝統行事、大伴家持が愛した「夕焼け」の美しさについて詠んでいます。それらは、川柳の枠を超えてまるで一つの絵画のような深みを感じます。入賞した生徒は以下の通りです。おめでとうございます。

【最優秀賞】	1年	「一歩ずつ 明日へふみ出す 禅の里」
【優秀賞】	3年	「大伴 家持の見た 夕日かな」
【佳作】	1年	「おとろしや めんさまくるぞ あまめはぎ」
【佳作】	1年	「もんぜんの ゆうやけ見てる ぶかつがえり」

きれいな海を取り戻す提案をしました！

今年は4月末に小中学校合同で海岸清掃したことをきっかけに、鹿磯の浜、間の浜を訪れ清掃するとともに海岸の様子を調査してきました。そのまとめとして、2月10日に門前総合支所の小幡正章さんを招いて発表会を行い、アドバイスを頂きました。調べたことを単に発表するだけでなく、地域に向けて発信していく学習となりました。



＜生徒の感想＞

- 小幡さんのおはなしや質問の中で一番多く口にされていた言葉は「お金がない」「人手が足りない」だった。取り組みたい活動は山ほどあるが、思うようにはいかないそうだ。このお金と人手が不足していて、地震のころからほとんど変わっていない現状を新聞に書きたいと思った。僕は「クラウドファンディングをすればいいのでは」と提案した。もしそれが、現実出来たら作成する新聞の記事に書き加えたいと思う。
(2年男子)
- 地震前には春に海岸清掃を行っていたことを初めて知った。また、地震が起きた後で、イカの漁獲量が半分になるくらいまで減っていることに驚いた。琴ヶ浜を海水浴場にするために、市の人たちが頑張っていることも分かった。(2年男子)

閉校行事へ参加、有難うございます！



2月14日に、門前西井小学校・門前東小学校・門前中学校の閉校行事が行われました。中学校の体育館で準備したシートに、それぞれの思いをイラストと言葉にして添えました。その後は、両小学校へ移動してシートを掲げ、最後は中学校の玄関で記念撮影をしました。この企画のために、シートの準備やバスの段取り、お便りの作成など実行委員会の皆様が準備をして下さいました。お疲れさまでした。夕方にテレビ放送された児童生徒の表情から、楽しいひと時だったことが伝わってきました。本当に、ありがとうございました。

行事予定

【3月】

【4月】

2日(月)	1・2年期末テスト	6日(月)	新任式、入学式準備
4日(水)	植田 SC 来校	7日(火)	開校式、入学式、始業式、給食開始
9日(月)	学力検査事前指導(3年)	8日(水)	教科書配布
10日(火)	3年公立高校学力検査(国理英)	9日(木)	身体計測 春休み明けテスト(7・8年)
11日(水)	3年公立高校学力検査 (社数面接等)、1・2年成績交換	10日(金)	春休み明けテスト(7・8年) PTA 役員会
12日(木)	卒業式予行	17日(金)	授業参観、学級委員会、PTA 総会
13日(金)	卒業式(10時~)	21日(火)	全国学力学習状況調査 (3年英語と質問紙調査)
18日(水)	公立高校合格発表(正午)	22日(水)	県基礎学力調査(3年理社)
19日(木)	大掃除	23日(木)	全国学力学習状況調査(3年国数)
20日(金)	春分の日	24日(金)	生徒総会
24日(火)	修了式、離任式、閉校式 1・2年通知表渡し	27日(月)	1年生を迎える会
25日(水)	春季休業	29日(水)	昭和の日
※予定には変更もあります。ご了承ください。		30日(木)	英語「聞くこと」の調査(3年)

門前中学校の活動の様子は、インターネットのHPでもご覧になれます。

是非、ご覧下さい!!

輪島市立門前中学校

検索



クリック